

平成30年度重点事業

1 地域寺子屋事業の拡充

【学校教育課】【生涯学習課】

- 市内公民館等を会場に、教職経験のある指導者や地域のサポーター、大学生ボランティアによる中学生への学習支援を進める。地域をあげて家庭や学校との連携を深め、子どもたちの社会生活の基礎知識や人とのかかわりなど、社会性や人間性を育むとともに、指導者や友達との協働による学びの中で、自己肯定感や自己有用感の高まりが期待できる。

2 赤城山ろく里山学校の充実

【学校教育課】【生涯学習課】【文化財保護課】【青少年課】

- 赤城山麓の里山を中心とした自然や土地の特性を生かした体験活動をとおして、ふるさとのよさに気づき、ふるさとを愛する心を育てるとともに、小学生による異年齢交流、地域の小学生と大人との交流、地域の枠を超えた様々な人との交流を図る。

3 教員の多忙さ解消の推進

【学校教育課】

- 教員が子どもと向き合う時間を確保し、質の高い授業や個に応じた指導ができるよう、単独で授業を担う「前橋小学校教科指導講師」や事務作業の補助を行う「前橋校務補助員」、部活動の指導を行う「部活動指導員」などの非常勤職員を効果的に学校に配置し、支援を行う。

4 青少年支援事業

【青少年課】

- 学校における生徒指導上の様々な問題に対して、青少年支援センターが迅速に学校と連携・協力して解決に努める。また、関係機関との連携を行う「スクールソーシャルワーカー」の派遣や、不登校傾向の子供の支援のための「スクールアシスタント」の学校への配置、「オープンドアサポーター」による不登校・ひきこもり傾向の生徒宅への訪問を行う等、健全な青少年の育成を目指す。

5 ICTを活用した教育の推進

【学校教育課】

- 無線LANを利用できる学校環境において、日常的にICTを活用することで、疑問をもたせる場面や情報を収集・整理したり、考えをまとめて表現したりする活動等を充実し、児童生徒が思わず身を乗り出す授業の実現を目指す。

6 小学校英語教育の充実

【学校教育課】

- 小学校で新たに始まる外国語活動、外国語科の指導を支援するため、効果的なALTの配置や外国語活動の支援を行う「前橋イングリッシュサポーター」を増員し、外国語を使う必要を感じる場面設定の工夫や、外国語を用いて自らの思いや考えを伝え合うことの楽しさを味わえる授業づくりを推進する。

7 特別支援教育体制の充実

【総合教育プラザ】

- 特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、「ほっとルーム」などを持つ本市の特別支援教育体制の良さを活かしながら、一人一人の障害や発達段階、特性等に適した指導を行う。また、通常の学級に在籍する支援を必要とする児童生徒に対して、「学習サポーター」を配置し、担任と協力しながら個に応じた指導の充実を図る。

8 幼児教育と親育ちの支援

【総合教育プラザ】

- 幼児期に必要な生きる基盤となる体験ができるよう、家庭や園所等で目指す方向性をまとめた「まえばし幼児教育充実指針 めぶく～幼児の育ち～」を広く市民に周知し、それを基に、園所、公民館等を会場に「子育て井戸端会議」を広く開催する。

9 公民館・コミュニティセンターの充実

【生涯学習課】

- 地域の絆づくり、活力ある地域社会を構築するため、公民館を中心としながら、コミュニティセンターについても地域の活動拠点として高めていく。公民館では、地域の特色と未来像をまとめたコミュニティデザインを磨き上げながら、地域住民が主体的に活動できるしかけを工夫し、社会教育事業の充実を図る。コミュニティセンターの指定管理者に対しては、引き続き機能充実に向けた体制づくりを支援する。

10 文化財の活用の推進

【文化財保護課】

- リニューアルオープンした臨江閣や阿久沢家住宅など誇れる地域の文化財を市民が活用できるよう積極的に発信していくとともに、平成28年度に完成した総社歴史資料館が小学生を始め、市民の魅力的な学びとなるよう運営を工夫していく。